



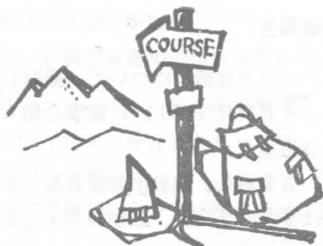
会報

DISTRICT 353
CLUB BULLETIN

創立 S34.6.9 承認 S34.6.27

鶴岡ロータリー

THE ROTARY CLUB
OF TSURUOKA



登山

例会場 鶴岡市本町二丁目 ひさごや
例会日 毎週火曜日 PM 12:30 - 1:30
事務所 鶴岡市馬場町 商工会議所内
電話 0235 (2) 5775

会長 鈴木善作
幹事 小松広穂

会報はご家族みんなで読みましょう

Renew the Spirit of Rotary

ロータリーの精神を振るい起こせ

第 807 号 1975. 6. 10 (火) (晴) No.47

◆出席報告

本日の出席

会 員 数	72名
出 席 数	46名
出 席 率	63.89%

前回の出席

前 回 出 席 率	73.61%
修 正 出 席 数	60名
確 定 出 席 率	83.33%

欠 席 者

阿宗君、阿部(公)君、飯白君、市川君、
小池君、嶺岸君、三井(徹)君、新穂君、
中野(清)君、大川君、齋藤(栄)君、齋藤
(信)君、佐藤(伊)君、佐々木君、佐藤
(衛)君、佐藤(友)君、笹原君、高橋(正)君
高橋(良)君、菅原(辰)君、津田君、手塚
君、上野君、内山君、藪田君、清水君

メークアップ

中野(清)君一酒田 RC
佐藤(友)君一立川 RC
五十嵐(三)君、金井君、清水君、風間君
鈴木(弥)君一鶴岡西 RC

◆ビジター

尾 関 二 郎 君一東京板橋 RC
阿 部 正 男 君
桜 井 瑞 男 君
陶 山 次 郎 君
小 林 忠 康 君
足 達 一 見 君
羽 根 田 正 吉 君 } 鶴岡西 RC

◆点 鐘

◆ロータリーソング「我等の生業」

◆ビジターゲスト紹介

◆会長 報告

◆庄内文化財保存会事務局長 菅原正作氏
ゲストスピーチ

◆幹事報告

(イ) クラブ協議会について(繰返し)

6月17日16:30より 産業会館4F第二
会議室

各委員長、義務出席委員長欠席の場合
は委員必ず出席、活動報告を文書を以て
携行。

新年度委員長との業務引継懇親会は
18:30より産業会館 畳の間にて、登録料
¥1,500、懇親会に欠席の方は?

(ロ) 例会終了後理事会開催

(ハ) 例会変更

(A) 八幡クラブ 6月14日午後5時より
八幡町小泉部落公会堂にて

(ニ) 第354地区西馬音内ロータリークラブ

8月18日 創立10周年記念式典 17:00
湯沢市雄勝郡広域市町村圏
総合体育館にて

(ホ) 会報到着

能代南、東京

(ヘ) ロータリー手帳について

先に不要の旨御申出あった方16名あり
ましたのでクラブ予算節減の為必要の方
のみにして下さい。事務局テーブルの前
にありますので、お帰りの節御持ち帰り
下さい。

(ト) 75年、76年上半年期

(S50.7月1日～12月31日)

人頭分担金

6ドル 1ドル ¥290 ¥1,740

ロータリアン誌購読料

2ドル 〃 ¥580

(半年分)

(チ) 本日午後2時より市役所において長椅子 寄贈の目録贈呈を行ないます。理事、 社会奉仕委員会は御出席願います(計画 管理課において)

◆ロータリー情報委員会

張紹淵君、山本隆男君、津田晋介君

<主題>

“職業奉仕で、国際ロータリーが、我々会員
に、或いは、クラブ職業奉仕委員会に、具体
的に何を要求していますか”

職業奉仕と云うと、すぐに実業界のみを論
じている傾向があります。専門業界のことを
度外視する傾向がありますようですが、国際
ロータリーが、我々会員に、或いは、クラブ
職業奉仕委員会に具体的に何を要求していま
すか、ですが、それは、次の5つの項目であ
ります。

① “会員各自に自己の職業の実務基準をか
かせて、これを自己の職業に実際に適用して
行くように示唆しましょう”とあります。

② “各自の業務についての、お話しをさせ
ましょう”とあります。

③ “同業組合、又は専門職業組合の会合に
出席して来たときに、その様子をクラブに報
告するようにしましょう”とあります。

④の(1) “会員が競争者や従業員等を同伴出
来るように、クラブのプログラムを行いまし
ょう”とあります。

(2) “会員全体が職業奉仕の問題について討
論出来るようなプログラムを行いましょう”
とあります。

⑤の(1) “どの位、同業組合乃至専門職業組
合に、加入しているかを調べましょう”と
あります。“(2)親切競争、(3)炉辺会合、(4)小
企業相談所、(5)展示、(6)職業奉仕債、(7)職業
進路会議、(8)地域社会、実業界、専門業界議
会及び学校において“四つのテスト”の利用
と奨励をする運動をしよう”とあります。(9)
“事例研究法の発表会をしましょう。”とあ
り、“(1)～(9)の出来るだけ多く、主催しまし
ょう”と要求されています。

〈主題〉

“国家間の連携のありかたについて”

1931年(昭和6)、独、仏両国のロータリーが、彼等の国家間の関係を改善しようとして、小委員会を組織し始め、一時は姿をかくしていたが、これが、第二次世界大戦後に又復活され、今では、約30余の国際共同委員会になり、15ヶ国をこえるロータリアン達の中に、国際親善を推進しています。

その連携クラブの組合せは、完全に自発的なものであって共同委員会の最も永続的な仕事は、異なる国々のロータリアンの中に、連携関係を結ばせることであります。最近、独仏国際間だけでも126の連携関係が出来ていて連携クラブの訪問は、ロータリアンやその家族達による交互の訪問がしばしばあって、普通48時間位であって、接待は、ホスト・クラブに負担がかからないように簡単にしています。プログラムは、観光、討議、友愛の快く交錯したものであって、民間のレセプションや新聞報道を通じて、訪問の広報価値を強調することが大切です。

その中でも最も大切なことは、世界社会奉仕計画で協力し、広報を分かち合い、平和のために、世論に影響を与えるように力を合せることであります。そうでないと、唯の観光でおわることは意味が余りありませんからです。

国際理事会はこの意味の組合わせ関係をすすめて行くようにはげましています。

国際共同委員会用手順を国際ロータリー本部に詳細をおねがいすれば、何時もよろこんで教えて下さいます。

委員会の活動は、部内活動と部外活動に分けられ、財政はクラブ又は地区が、その組合せの経費を負担することになっています。

(747—J)

“新クラブ結成がなぜ

必要であるかの理由は何か”

それは、①ロータリーの計画を推進し、②その綱領を達成する仲介者がロータリークラブであるからです。

それで、③新しいクラブが出来れば、出来る程、ロータリーが最も大きな感化力を発揮し得るからであるからです。

“欠席は三重の不利益である”

そのわけは何んですか

① クラブ自体は、個々の会員が一丸となって、毎週の例会の1時間の貴重な時間をもっている。その例会で、各会員の知識と経験の得る利益を受けることが出来ないから、会員の欠席はクラブの不利益であること。

② 個人は、(1)親睦、(2)交換、(3)交友関係(4)同意見の人々と交際からうける、広い視界を、欠席のために奪われることになりましたがら不利益であります。

③その欠席者の所持している、職業分類が欠席のため例会の会合に代表されませんので。地域社会の職業分類の横断面となろうと努力しているクラブは、常習欠席者の数と未充填職業分類の数が多ければ、多い程、その目標に達することが出来ませんという、不利益なことがありますから、良いロータリアンになろうと努めている会員は、一般に、その人の出席と参与に正比例して、成功するものであることを、忘れてはなりません。皆様、例会に欠席をしないで、よく参与しましょう。

“今年のロータリー年度をかえりみて”

今年のロータリー年度をかえりみて、ロータリークラブを減ほすようなことが、次のような項目があります。このようなことがあ

たら、どうか改善をおねがい致します。と云うのは、これらの項目はクラブが弱体化したり、会員が脱落する理由になりますからです。

①ロータリーの会長というものは、指導者でなくて、独裁者であってはなりません。ガバナーもその通りでありましょう。②諸会合の下手な管理を改善しましょう。③長過ぎる前置き。④プログラムの均衡がとれていないこと。⑤変わりばえがしない（代ることによって一段とよくなることをしない）。

⑥クラブは理事会の決定を知らされていないこと。⑦貧弱な食事を出して高く取ること。⑧職業分類に関して、クラブが不十分であるか、妥当でない判断をしていること。

⑨若手会員のアイディアの押しつぶしを止めましょう⑩クラブ定款と細則が守られていないこと。⑪職業および国際奉仕が、後方に押しやられていること。⑫一年度先の準備が十分でないこと。⑬新会員は為すべき仕事を与えられないこと。⑭新会員は、入会前にロータリーを正しく知らされていないこと。

⑮出席者が少ないこと。⑯新会員の夫人が関心を持っていないこと。⑰利己的な理由で、クラブに区域割譲の覚悟がないこと。⑱奉仕担当理事からの指導がないこと。⑲クラブにロータリーの知識が欠如している。⑳興味も湧かない演説スピーチ。㉑会合のある毎に、同一テーブルに就く会員がいること。

㉒親睦さが不十分か、又は全くないこと。㉓計画の作成が長く掛かり過ぎること。㉔クラブに共同精神の欠如していること。㉕会員の下手な選定。㉖気力が乏しく、興味も湧かない計画。㉗クラブ協議会で、読まれる報告が多すぎて、十分に討議がなされないこと。

㉘クラブ間に、訪問がないこと。㉙クラブが社会の面だけに関心を持っていること。

㉚おそまつな会報では…短かすぎる、長すぎる、趣味が乏しい、まずい文章、関心の欠如

がある。㉛（シニヤ、ガバナ級の）年配会員が変革に反対のこと。㉜地区の機能と企画にクラブが関心を持たず、支持もしないことを改善しましょう。㉝部屋がふさわしくないこと。㉞負担金が高過ぎたり、又は、負担金が頻繁すぎることはよくありません。㉟委員長まかせのクラブであってはなりません。

などまだまだ、沢山ありますが、以上のことが本年度のR・I.の文献、ニュースから参照できましたので、謹んで御紹介致します。

“よきをとり、悪しきをすてて、奉仕の理想を鼓舞し、育成しましょうではありませんか”。ありがとうございました。

◆致道館のこと

庄内文化財保存会事務局長

菅原正外

致道館は庄内藩校です。最近まで朝暘第一小学校として使用されていました。第一小学校が昭和34年文園町に移ってから約7年ほどかけて4,300万円で復元、名実ともに国の史蹟として生れ替ったものです。

白井市長の声がかりで長い間閉していた門を開き一般公開したのは3年前の47年でした。土地の人は、ややもすると、自分らの土地の文化財を余りよく知らないのが通例で、致道館を知っている人は余りいないようです。致道館は東北地方唯一の藩校です。国の史蹟に指定されたのは、昭和26年で、全国で数少ない藩校ですから地域の人たちの力で守ってゆきたいものです。

スピーチ等には要旨で結構ですので、原稿を会報委員会にお渡し下さいます様重ねてお願い致します。御協力下さい。